



## 餅つき大会に参加した学び



1年 比嘉 七彩

餅つき大会では、入所者さんが安全に楽しめるように様々な工夫がされていました。入所者さんに配る餅は誤嚥や窒息を防ぐために、小さく丸められていたため、配る時は、「ゆっくり噛んで食べて下さいね」と声掛けを行うことを意識しました。また万が一、餅が喉に詰まってしまった時のために、吸引器が準備されているのを見て、あらかじめ起こりうる危険を予測しておくことの大切さを学びました。その他に入所者さん一人一人に味の好みを聞き、その人自身にあったスプーンやフォークを選択するという配慮がされていました。私は餅を配る時、始めはスプーンや箸を入所者さんが取りやすい位置や向きを考えて置くことや、コップの持ち手をつかみやすい方向に向ける配慮ができなかったため、これからは細かい気配りができるように、実習では常に患者さんの気持ちを考えながら行動していきたいと感じました。

入所者さんが餅つき大会を楽しむことができるように、入所者さんや職員、学生の私達で餅をつくときに「よいしょ」という声掛けを行ったり、職員の方が入所者さんに味の感想を聞きに行き、美味しかったことを作った人に伝え、場を明るく盛り上げていました。また、入所者さんの年代に合わせた音楽を流すなど、入所者さんが若い頃を思い出しながら楽しめる工夫がされていることに気づきました。

愛生園では家族と疎遠関係にあり、帰る場所がない入所者さんが多く、そのような入所者さんに季節を感じる行事を楽しんでもらいたいという思いで餅つき大会を開催していることを知りました。このことから看護師になった時、病院で療養する患者さんが季節を感じることをできる関わりをしたいと思います。また、常に安全に配慮した行動を考えて実行することが、看護師の役割であることをこの餅つき大会を通して学びました。



1年 緑 美蘭

餅つき大会に参加して、入所者さんの安全面への配慮がされていることに気づきました。入所者さん 4 人に看護師 1 人が必ず付き添い、お餅を食べる前に水分摂取をするよう看護師が促していました。また、お汁粉のお餅は一口サイズにされており、お餅で喉が詰まらないように工夫していました。更に、お餅を喉に詰ませた時の対応が瞬時に取れるよう吸引器の設置がされていました。楽しい行事の中でも危険があることから、危険リスクを見落とさないよう計画を立て、対策をする必要があると学びました。

環境面では楽しめる雰囲気づくりとして、昔の曲を流していることや入所者さんから餅つきをしている姿が見えやすいよう、餅をつく人の立ち位置が考慮されていました。餅をつくタイミングに合わせて看護師が手拍子をしながら、「よいしょ」と、声を出してその場を盛り上げていました。この時の入所者さんの様子は一緒に手拍子をしている方もいれば、一緒に声を出している方もおられ、参加している全員が楽しんでいました。

私は最初、配膳の時の声掛けを考えていましたが、緊張して声掛けが十分にできませんでした。しかし、お餅を配膳した時に、入所者さんから笑顔を見られ、もっと笑顔を見たいという思いがきっかけで声掛けが徐々にできるようになりました。安全に配慮された餅つき大会が実施されることで、入所者さんの笑顔が増えることがわかりました。

看護師は入所者さんが来られた時に、「〇〇さんはほうじ茶だね」と、入所者さんのことを把握していたことや、お箸で食べづらそうにしている入所者さんにスプーンを持っていくなど、常に目を配っていたこともわかりました。そして、入所者さんが安全で楽しく過ごせるような配慮をしていくことが看護師の役割だと学びました。